

千葉大学医学部附属病院で肝門部領域胆管癌に対して 手術を施行された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年11月20日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、肝門部領域胆管癌手術における遠位側断端と後上臍十二指腸動脈の距離に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2010年3月31日～2023年11月30日の間に肝門部領域胆管癌に対して肝胆膵外科で手術を受けた方

1. 研究課題名

「肝門部領域胆管癌手術における十二指腸側断端と後上臍十二指腸動脈の距離の関係に関する後ろ向き観察研究」

2. 研究期間

2023年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

肝門部領域胆管癌における最も効果の高い治療方法は、癌の残らない外科手術です。癌を残さず取りきれた場合には、そうでない場合に比べて治療の効果が高いことが知られています。手術の前に癌の広がりを評価することが重要ですが、その指標となる構造物が明らかになっていないのが現状です。そこで、癌の広がりを評価する基準として、後上臍十二指腸動脈という血管が基準になるのではないかと仮説しています。癌と血管

との距離を CT で計測し、実際に癌がどれくらい広がっていたかを照らし合わせることで、基準としてふさわしいものであるかを確かめていきます。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査結果（腫瘍マーカーなど）、癌の広がり、癌のステージ、CT 画像

5. 研究組織（試情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：肝胆膵外科教授 大塚将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

肝胆膵外科教授 大塚将之

043(222)7171 内線 6731